

臨床研究等の情報公開

研究課題名	AI を用いた膵管内乳頭粘液性腫瘍の良悪性鑑別モデルの構築
研究機関	弘前大学大学院医学研究科、青森市民病院、青森県立中央病院
研究内容	<p>膵管内乳頭粘液性腫瘍（I PMN）は、基本的には予後良好な膵嚢胞性疾患ですが、一部では予後不良な浸潤癌へと移行します。I PMN 診療においては良悪性を判断することが重要であり、良性の場合は経過観察、悪性の場合には手術治療が選択されます。現行の I PMN 診療ガイドラインでは、画像所見などに基づく良悪性の判断基準が設けられており重要な指針となっています。</p> <p>しかしながら、診察時点で良性 I PMN と診断された患者さんの中には、経過観察の途中で悪性化（癌になること）される方がいらっしゃいます。残念ながら、このような経過をたどる I PMN 患者さんを事前に予測する手段は現時点ではありません。そこで本研究では、悪性化する I PMN を予測するモデルを構築し、患者さんの予後の改善を目指すことを目的とします。</p>
実施期間	実施許可日～令和 8 年 3 月 31 日
対象者	2000 年 4 月から 2022 年 12 月までの間に、膵管内乳頭粘液性腫瘍に対して手術をされた方を対象とします。
実施方法	<p>通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、切除組織の病理所見、術後経過についての情報を、標記研究課題実施のために利用します。</p> <p>本研究では、術前 CT 画像所見から術後病理診断を予測するために、深層学習という手法を用いて良悪性鑑別予測モデルを構築します。この結果は普遍的である必要があり、複数の施設の画像所見結果を合わせた結果として解析を行います。そのため、弘前大学消化器外科学講座へ得られた情報を提供します。</p>
参加撤回の自由	患者個人が特定されるような情報は利用せず、公開もしません。患者本人、またその家族が解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。その場合、診療において不利益となることはありません。
問合せ先	<p>研究分担者：院長 豊木 嘉一</p> <p>〒030-0821 青森市勝田一丁目 14 番 20 号 青森市民病院 外科</p> <p>Tel : 017-734-2171 (代表)</p>